地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

愛知県知多郡東浦町

自治体の課題、現状

令和5年度9月から町内3中学校長の決定として、休日の部活動を行わない方針が示されたことを受け、本町では中学生が休日にスポーツ等に親しむ機会を捻出するため、町内在住の中学生なら誰でも入会できる「ひがしうら地域クラブ」を立ち上げた。スポーツクラブとしてはサッカー、バスケットボール、ハンドボール、柔道、剣道、軟式野球、卓球、バレーボールの8クラブがある。立ち上げ当初の地域クラブの方針は、大会等への参加は前提とせず、活動に親しむことを主目的としていたが、町内3中学校より、令和7年9月以降は夏の大会・コンクール以外に学校部活動として参加しない方針が示された。よって、地域クラブとしても会員のニーズに幅広く応えるために、大会等への参加等、活動範囲を拡大していくことが課題となっている。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	1,400人
域内の部活動数	27部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	84人	全体の運営スタッフ数	4人
主な運営団体	教育委員会		
主な種目	サッカー、バスケットボール、ハンドボール、柔道、剣道、卓球、バレーボール、軟式野球		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：56人/クラブ 2年：120人/クラブ 1年：89人/クラブ
参加会費	1,000円/月	主な活動場所	東浦中学校、北部中学校、西部中学校

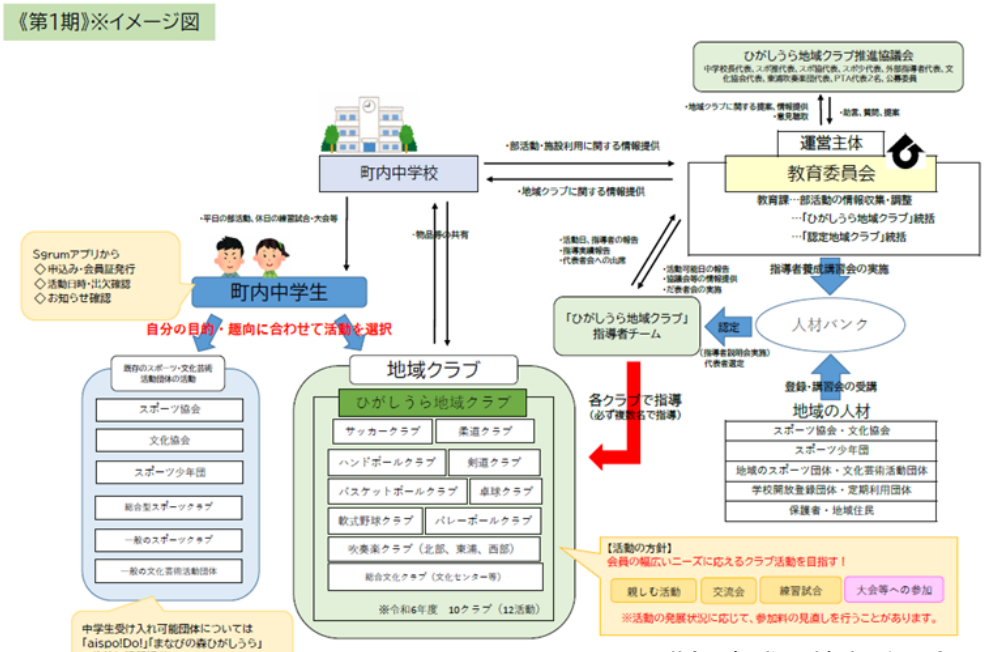
取組の概要や成果

○ 本クラブは、既存の学校部活動の運営方法を継承せず、教育委員会が直轄運営している。「新たな価値」の創出・普及を主目的としつつ、幅広く会員のニーズに応えるクラブを目指している。そのため、会員（月額1,000円）になると、どのクラブにも自由に参加できる仕組みで、延べ会員数336名の内、約30名が複数のクラブに参加する等、マルチ活動の機会として活用している。

○ 様々なニーズに応えるために、令和7年度は通常活動に加えて交流会や練習試合、大会参加等の活動に積極的に取組んだ。全8種目で、計45回の交流会や練習試合を実施し、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、柔道、剣道、卓球で計29回の大会参加を行った。

運営体制図

《第1期》※イメージ図



出典）東浦町教育委員会